

# 平成30年度 館林市立第四小学校 学校経営グランドデザイン

## 学校経営方針

① 児童の期待感やワクワク感が高められるような児童主体の活動により、学ぶ楽しさや互いに高め合う喜びが実感できる学校づくりに努める。

② 学校の全活動と関連づけた道徳教育の充実を図り、思いやりのある豊かな心の育成と、児童一人一人を大切にする学校づくりに努める。

③ 良好な生活習慣定着に向けた指導の工夫や四小体力向上プランの実践により、健康な体づくりと体力向上をめざした学校づくりに努める。

④ コミュニティスクールの理念のもと、家庭・地域との連携・協働や開かれた学校づくりを推進し、質の高い教育の実践と安全体制の充実で、信頼される学校づくりに努める。



**学校教育目標 (めざす児童象)**  
**「豊かな心と優れた知力をもち、心身ともにたくましく生きる児童」**



こんな児童を育てます

思いやりのある子

自ら学び考える子

心も体も  
たくましい子

- ・だれとでもなかよくする子
- ・相手の気持ちがわかる子
- ・相手の気持ちを考えて行動する子

- ・じぶんからまなぼうとする子
- ・自分の考えを発表できる子
- ・自分の考えを交流し、深められる子

- ・さいごまでがんばる子
- ・困難に負けない子
- ・目標に向かって努力する子

こんな学校をめざします

- 学ぶことの楽しさと、できる喜びが味わえる学校
- 社会に開かれ、家庭・地域に信頼される学校
- 整った教育環境のもと、安全で安心な学校



- ★地域の実態・願い
- ★家庭の実態・保護者の願い
- ★学習指導要領
- ★第2期群馬県教育振興基本計画
- ★平成30年度群馬県学校教育の指針
- ★平成30年度館林市教育行政方針

こんな教職員をめざします

- よさを認め、可能性を伸ばす教職員
- 情熱と志をもって、常に高め合う教職員
- 子ども・保護者・地域と思いを共有し、信頼される教職員



## 【豊かな心の育成】

- ・教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実や、道徳授業の中で体験に基づいて自己を振り返らせる工夫により、道徳的実践力を育むとともに、「生き方」についての自己の考えがもてるようにする。
- ・世代間交流や幼小中連携等の地域とのかかわり、異年齢集団活動(たてわり)において、ねらいを明確にした体験活動を実施することにより、社会性を身に付けさせるとともに、思いやりの心を育む。
- ・学校図書館利用の活性化を図り、読書を通して「豊かな心」や「生きる力」が身に付けられるようにする。
- ・児童会活動の活性化、キャリア教育や教育相談機能の充実により、児童の主体性や自己肯定感が高められるよう努める。

## 【確かな学力の確実な定着】

- ・児童主体の学習活動や、少人数を生かした工夫ある操作活動を取り入れ、「分かった、できた」という実感のもてる授業展開
- ・学力向上委員会を中心として、本校の実態に基づいた活用力育成の工夫や全校で取り組む発展補充指導(毎週水曜日ロングステップアップタイム)、朝学習の工夫(音読・100マス作文等)等を共通実践し、児童の学力向上に努める。
- ・小中連携英語活動の実践により、児童の興味関心を高めさせるような活動の工夫を積極的に取り入れ、楽しみながらコミュニケーション能力が身に付けられるようにする。
- ・コミュニティスクールを生かして、社会や生活とのつながりを明確にした体験的な学習の充実により、学ぶ意欲の向上と実感を伴った理解ができるようにする。
- ・授業でのICT活用、学習ボランティアの導入による個に応じた指導の充実。

## 【体力向上、健康・安全教育の充実】

- ・体育集会や外遊び(休み時間)の内容を工夫し、楽しさとともに運動量が確保できるようにする。
- ・四小体力向上プランをもとに、体力・運動能力向上を意識した授業づくりを行う。
- ・各種体育的大会や学校行事など、明確な目標をもって取り組める活動についての、意欲付けの工夫と練習時間の確保に努め、体力・運動能力の向上をめざす。
- ・多様な安全教育や地域と連携した防災訓練を実施し、自分の身は自分で守る意識を高める。
- ・定期的な安全点検、緊急時マニュアルの整備と共通理解、訓練の実施により、危機管理の徹底を図る。
- ・家庭と連携した生活習慣指導の工夫により、健康な体づくりを推進する。

## 【コミュニティスクール】学校運営協議会の開催

- 学校と地域が目標や課題を共有し、児童の健全育成に向けた協働体制を構築(熟議と協働)
- 市関係機関や地域諸団体等との連携(公民館、東幼稚園、第二中学校、区長会、寿会、よみむめも、その他学校支援ボランティアとの連携)